

# やってみる(挑戦)

～わくわく登校 納得の下校～

## ◎最後まで粘り強く頑張った『持久走大会』

12月18日(水)には、低・中・高学年の持久走大会が行われました。参観いただきました保護者の方々には、寒い中での応援、大変ありがとうございました。応援が確実に子供たちの力となり、目標タイムが上がった子供がたくさん出来ました。学年が上がるにしたがって、自分の走るスピードをつかみ、リズムよく走る姿が見られました。学校では、他の人と比べるのではなく、自己の記録をどれだけ高められるかが大切であることを話しています。今年は、特に猛暑だったため、外遊びがあまりできていないせいか、学習最初は、きつくて途中、先生方が見ていないところで歩く子供がいましたが、大会当日は、歩くことなく、懸命に自分と向き合い、最後まで走る抜くことができました。



1・2年生の様子



3・4年生の様子



5・6年生の様子

## ◎後期前半の評価について

10月半ばから始まった後期も前半を終えました。その間、各学年で3つの資質・能力（【他者と関わり合う力】【課題解決能力】【自己管理能力】）について目標を立てて取り組んできました。

下の表をご覧ください。（「よくできた」「まあまあできた」「あまりできなかった」「全くできなかった」の4段階評価のうち「よくできた」の項目に絞って考察しています。）

求めたい資質・能力と主な質問	5月末時点	9月末時点	12月末時点
◎他者と関わり合う力（行事、係活動、委員会等） 問：目標を立てて、仲間と楽しく協力しながら活動をしましたか？	68%	47%	52% ↑
◎課題解決能力（授業） 問：学習の中で疑問をもち、意識して解決しようと思うばかりではなく、他の学習にも生かそうとしましたか？	26%	35%	38% ↑
◎自己管理能力（学校生活） 問：清里小学校の3つの「あ」（挨拶、安全、後始末）運動を進んで行いましたか？	46%	53%	67% ↑

【考察】【他者と関わり合う力】【自己管理能力】は、9月末時点からポイントが5ポイント以上上がっています。このことは、行事や係、委員会、学校生活を通して、その意味を先生方がしっかりと価値付け(振り返り)を行っているからだと感じています。9月末時点から学年の実態を『自分事として』捉えるために、児童と教師が「今、ここ」での自分たちのよさや課題を出し、目標を具体的に決め、意識した取組の成果が出てきたのではないかと考察します。

【課題解決能力】については、9月末時点よりは3ポイント向上しているものの、更なる、教師側の授業改善とカリキュラム改善を学校全体で図っていく必要性を感じています。

ご家庭でも、後期前半で頑張ったことについてしっかりと子供たちを褒めて価値付けていただければと思います。